

おおか せいこ

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。
フランスで培ったフローラルワーク
を手がける。 <http://rencontrer.jp/>



花のある 空間

大高 令子

アナベルオータムを シンプルに飾る

今月の花材

アナベルオータム（グリーン）

アイビー

ハーデンベルギア

アジサイの仲間のアナベルは、8月の終わりころになると花（実際にはガク）もすっかり乾き切り、ドライフラワーとして長く楽しむことができます。

今月は、このアナベルをリースとして構成してみましょう。

まず、リースの形をしたフローラルフォームを用意します。サイズのバリエーションがありますので、飾るスペースに応じて選びましょう。ドライフラワー専用のフ

ローラルフォームもありますが、生花用でも代用できます。

アナベルは、もともとは人の顔ほどの大きなボール状ですが、これをゴルフボールほどのサイズに小分けします。茎の先端は、挿しやすいように、斜めにカットしておきましょう。

小分けにしたアナベルを、フローラルフォームの外側側面⇒内側側面⇒正面の順に挿していきます。この際、茎の先端に木工

用のボンドを付けると素材が落下しません。ボンドは、速乾用があればそちらがお勧めです。

でき上がったアナベルリースに、アイビーとハーデンベルギアの蔓を絡ませて完成です。アナベルだけでもシンプルな魅力がありますので、蔓はお好みで。

直射日光と湿気を避ければ、1年近く楽しめます。時を重ねつつ、うつろいゆく色の変化を眺めるのも一興です。